

# 東京都 JRAT 第1隊

## 初台リハビリテーション病院

### 活動レポート



## ● 能登半島地震における東京都 JRAT の活動を報告します ●

私たち初台リハビリテーション病院の職員4名は、東京都 JRAT の第1隊として 2月1日に金沢入りして、翌日の 2月2日から4日まで現地での活動にあたりました。現地の様子ですが、写真の共有が JRAT 活動の規約により制限されているため、ここに載せることはできないのですが、報道されているような被害の状況を目の当たりにしました。

被災した家屋は、1階部分あるいはすべてが崩壊しており、多くの被災者が帰る場所を失い、避難所生活を強いられています。その中で、深い悲しみを抱えながらも、集団生活がより良くなるよう結束し、少しずつ前に進み始めている現地の方々にもお会いしました。

発災後1か月というフェーズで訪れた我々は、JRAT 隊員として避難所を訪問しリハニーズを探っていくというのが主な活動でした。特に、要配慮者と呼ばれるケアや医療的ニーズが高い方達が、避難生活という特殊な状況下において、生活機能や健康状態が悪化しないか、リハビリテーションの視点でアセスメントしていくことが役割となります。個別介入では、段ボールベッドと手すりを使った環境調整や、避難所で行っている体操を避難者がより主体的に取り組めるための助言等を行いました。

重要だと感じたことは、自分たちの活動期間中にすべての課題を解決しようと思わないこと。前隊を引継いで活動し、そして次につないでいくことで、JRAT の活動は成り立っています。

そして、隊のメンバーをはじめ、石川 JRAT 本部や他の JRAT 隊、現地のリハ職や JMAT を始めとした他の支援団体との連携は欠かせません。日頃よりチーム医療や地域での協働を実践している方ほど、有事の際の支援でも柔軟に自分の役割を見極められるのではないかと思います。

### 東京都 JRAT 第1隊

構成: 医師、看護師、理学療法士  
作業療法士 合計 4名  
派遣地域: 2月2日 志賀町  
2月3日~4日 珠洲市  
支援実績: 3日間  
避難所訪問 14カ所  
個別介入 8名